

事務事業評価シート

H27(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	市民文化部
	03049-1	児童手当給付事業	室名	保険年金室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	02:子育て支援	務	款 民生費
	施策の方向	01:健やかに産み育てる支援体制づくり	科	項 児童福祉費
戦略プロジェクト		目	目 児童措置費	

② 目的・概要	対象	出生により新たに市内に住所を定めた第3子以降の子どもの保護者で、3人以上の子どもを養育する方
	目的	次世代を担う子どもの出生を祝うとともに、その健やかな成長を願い、出生祝金を支給する。
概要	子ども(第3子以降)の出生の際、市長のメッセージを添えて、1人当たり3万円の出生祝金を贈る。	

		27年度	28年度
①	名称	出生祝金支給回数	計画値
	補足		実績値
②	名称	出生祝金支給人数	計画値
	補足		実績値
③	名称		計画値
	補足		実績値
④	名称		計画値
	補足		実績値

年度計画				年度実績				
				出生祝金 支給回数12回 支給人数80人 支給金額240万円 (参考)平成26年度実績 支給回数12回 支給人数72人 支給金額216万円				
④ 事業の計画・実績	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	379
		国庫支出金				一般職員人件費 ②	379	平均給与額×③
		県支出金				所要人員 ③	0.05	
		地方債				臨時職員人件費 ④		
		その他				受益者負担額 ⑤		
		一般財源		2,400	2,400	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		再掲	翌年度への繰越額					
		前年度からの繰越額						
		総人件費				①	379	
		総コスト				⑥	2,779	

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	毎月、支給対象者に対して、市長のメッセージを添えて、出生祝金を贈ることにより、80人の子どもの出生を祝うことができた。	総合判定 A 順調に進んだ
	【反省点・課題】	当初、支給人数60人として180万円を見込んでいたが、それを上回る支給があったため、適切に予算措置を行う必要がある。	
	【改善の方向性】	過去の支給実績、市の様々な子育て支援施策を勘案し、適切に予算措置を行う。 平成28年度予算措置:支給人数70人 支給金額210万円	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 保険年金室長 桜井 伸仁